

全国学力・学習状況調査の結果について

<浦幌町立小・中学校の傾向>

◆調査の目的

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的とし、文部科学省が実施しています。

◆調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象としています。

- (ア) 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- (イ) 中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学校第3学年

◆結果の公表

教育委員会は、保護者や地域住民の皆さんに対して説明責任を果たすため、文部科学省が定めた「平成27年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」に基づき、調査結果を公表します。

なお、この調査により測定できるのは学力の特定の一部分である

こと、学校における教育活動の側面であることなどを踏まえ、序列化や過度な競争が生じないようにするため、次の点に配慮して公表します。

- (ア) 学校ごとの調査結果は公表しません。
- (イ) 平均正答率や平均正答数などの数値については公表しません。
- (ウ) 教科の領域別に全国と全道及び浦幌町の状況を比較したレーダーチャートを公表します。
- (エ) 調査結果について分析を行い、分析を踏まえた今後の学力向上の改善方策を公表します。

◆調査の結果から

【学力の傾向】

- 平均正答率は、小中学校ともに国語Bは昨年を上回っていますが、その他は全て昨を下回りました。
- 全国・全道ともに浦幌町と同じように国語B以外は昨を下回っていますが、下げ幅が小さいため相対的に差が広がる結果となりました。

【学習状況の傾向】

- 1日3時間以上テレビやビデオ等を視聴する、1日2時間以上テレビゲームをする、1日1時間以上携帯電話やスマートフォンを使用している児童生徒の割合は、全国・全道を大きく上回りました。
- 学校の授業以外で1日1時間以上勉強している児童生徒の割合は、

昨年と同様にかなり低くなりました。

- 学校の授業以外で1日30分以上読書をする児童生徒の割合は、小学校はやや上回りましたが、中学校は大幅に下回りました。読書が好きな児童生徒の割合も小学校はほぼ同じでしたが、中学校は大幅に下回りました。

【分析】

- 学力調査と学習状況調査には相関関係があることが分かってきており、それらを総合して分析を行っています。

- 浦幌町は児童生徒数が少なく相関関係を正確に把握することが困難なため、全国の分析結果から関係性がある主なものを例示します。

例1 ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある、あるいは自分にはよいところがある、将来の夢や目標を持っていると答えた児童生徒は、そうではないと答えた児童生徒と比べて平均正答率が高い。

例2 1日3時間以上テレビやビデオを視聴する、1日2時間以上テレビゲームをする、1日1時間以上携帯電話やスマートフォンを使用している児童生徒は、それより少ないと答えた児童生徒と比べて平均正答率が低い。

<学力向上の改善方策>

- 児童生徒にとって規則正しい生活を送ることは何より大切なことであり、浦幌町では「浦幌町教育の日」の取組の中で引き続き「早寝・早起き・朝ごはん(あいさつ&ノーテレビデー)運動」を推進します。
- 「自分にはよいところがある」など自分自身を肯定的に捉えることにより、将来に目標を持ち、まわりの人から認められていると感じることが出来ます。今年度から始まった小中一貫コミュニティスクールを活用し、学校・家庭・地域が総ぐるみとなって子どもの生きる力を育む取組を行います。
- 学校では、全教職員で学力・学習状況調査を分析し、課題を明確にして数値目標を設定するなど、授業改善を図る検証改善サイクルを確立し実践します。
- 学校では、全校で一貫した学習規律の徹底を図るとともに、放課後や長期休業中の学習サポートの実施、チャレンジテストの活用にも努めます。
- 家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん(あいさつ&ノーテレビデー)運動」に取り組み、テレビやゲームの時間を減らし、家庭学習や読書の時間を確保します。
- 地域では、保護者や地域のみなさんと危機意識や課題意識を共有し、「浦幌町教育の日」の取組をはじめ、学校支援地域本部事業、うらほろスタイルの教育の取組などを充実します。

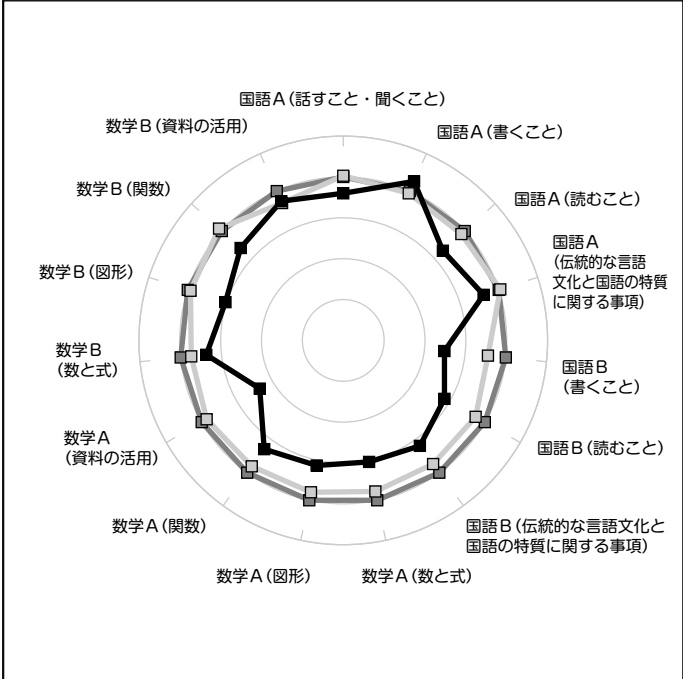
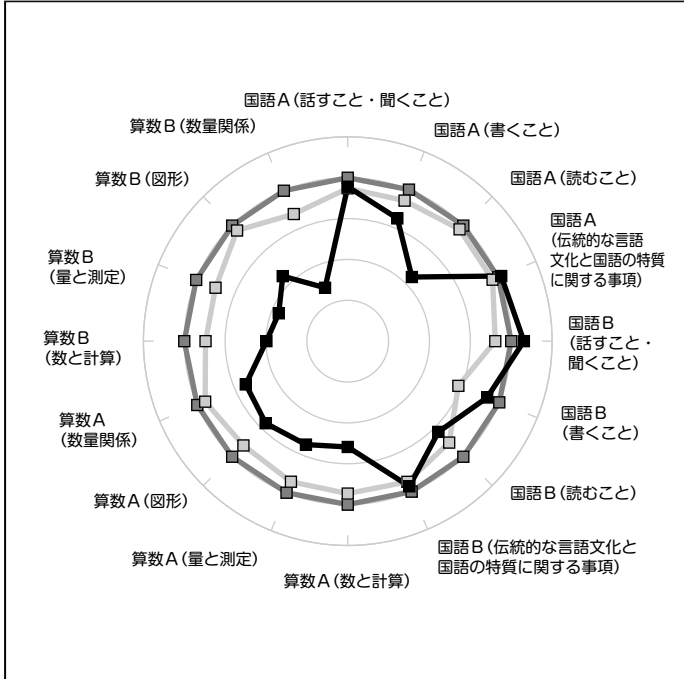
全国、全道の平均正答率との比較

小学校

中学校

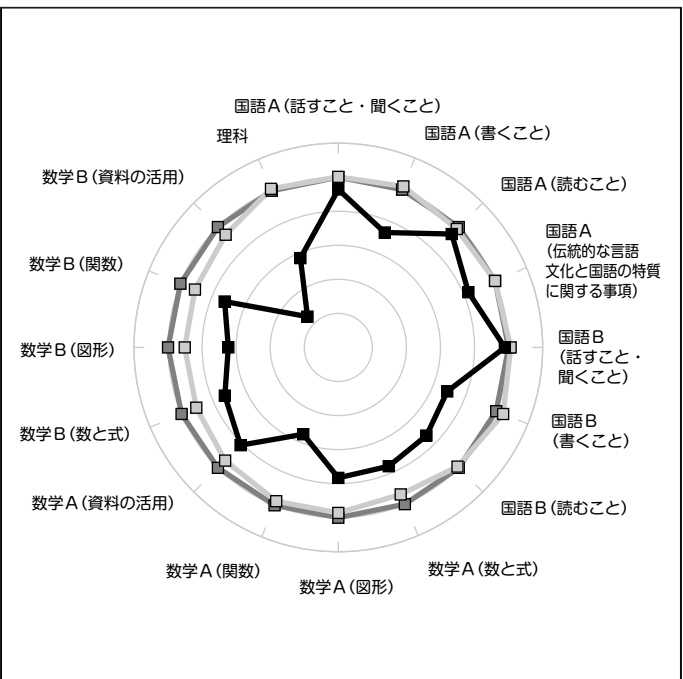
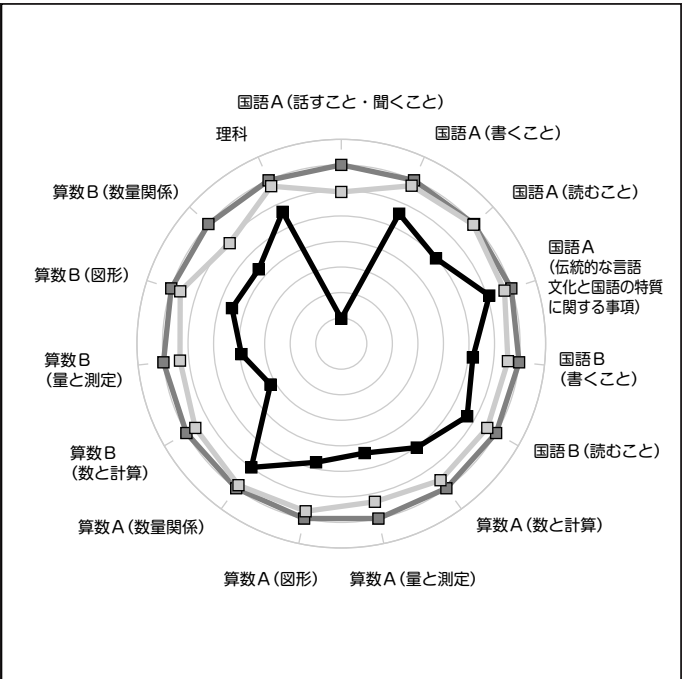
【平成26年度】

【平成26年度】



【平成27年度】

【平成27年度】



●全国・全道との比較で見ると、全ての領域で全国・全道平均を下回りました。
 ※このレーダーチャートは、教科の領域別に全国を100とした場合の浦幌町の状況を示したもので、浦幌町の平均正答率÷全国平均正答率×100で算出しています。また全国を100として北海道全体の状況を示しています。